

生涯教育研修活動報告書

生理検査研究班

- 1 実施日時：2022年10月27日 18時30分～20時10分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門－20点
- 3 主題：心臓超音波検査研修会 実践・虚血性心疾患の壁運動評価
- 4 講師：戸出 浩之（獨協医科大学埼玉医療センター）
- 5 協賛：無し
- 6 参加人数：会員 193名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：南雲涼太 工藤淳子 横尾愛 小宮山英幸 森充生 瀧沢義教

8 研修内容の概要・感想など

今回の心臓超音波検査研修会は、虚血性心疾患の壁運動評価をテーマに取り上げ、ZoomによるWeb開催とした。講師は心臓超音波検査のスペシャリストである戸出浩之氏にお願いした。

左室17分画図の描かれた研修会で用いる解答用紙を一斉メールにて参加者へ事前配布し、研修会開始前までに症例数分印刷してもらった。また参加者へは、利用通信環境によって動画再生が正常に表示されず壁運動評価がしにくくなる場合もある点を予めアナウンスした。研修会の進行は①虚血性心疾患の壁運動評価ポイントの話、②参加者による壁運動評価および演者による出題画像の解説・コメント、③虚血がなくても壁運動異常は起こる話とまとめの3部構成でおこなった。

研修会第1部では、基本的な壁運動評価方法の話があった。左室壁運動を観察する断面、左室17分画や冠動脈支配領域のスライドなどが示され、見落としのしない評価をするための注意点などの話があった。壁運動評価は初心者が最初につまずく、ぶち当たる壁である。演者は「壁運動をうまく評価するのに近道はない。たくさん症例をみて検証して段々自分の目を養うことが大切である。」と述べられていた。

研修会2部では、8症例の心臓超音波画像が提示された。参加者には、動画供覧後に用紙へ壁運動評価を記入し、次にその壁運動異常から原因となっている冠動脈はどれかをZoom投票機能を用い解答してもらった。解答時間は、司会者の解答開始合図後30秒とした。リアル

タイム解答集計結果は、症例の壁運動評価解説時に反映させた。このような参加型の Web 研修会は、生理検査研究班として初めての試みであった。

出題超音波画像を同一画面に多数表示させた時には、画像の動作が重くなった。その対処として Web 統括者は、演者に対し講演のタイミングを見計らって Zoom の画面共有方法を「ビデオクリップに最適化する」設定に変更することを要請した。その対処後に大きなトラブルはなかった。

研修会 3 部では、虚血がなくて起こる壁運動異常の話があった。最後のスライドには、壁運動異常を誤認しないために心内膜面を明確に描出することが大切、特に thickening に注目して観察する点や冠動脈の走行を考慮しながら観察するなどの観察ポイントや注意点がまとまっていた。質問はチャットに 2 つ寄せられ、回答があった。

企画者としては、今回の研修会で得た知識を心臓超音波検査業務に是非とも役立ててもらえればと願う。

提出日 2022 年 11 月 26 日

文責：瀧沢義教